



# 子ツトヲニク ネツトヲニク

西川副小学校だより 第21号

令和6年3月4日

文責 校長 大石 文枝

学校教育目標:よく学び 助け合う 元気な子の育成  
～かしこく やさしく たくましく 笑顔輝く西っ子～  
自分を大事に そして人を大事に! 自分で考え、動きます!



西川副小学校HP

QRコード

## ◆6年生を送る会開催◆

2月22日(木)に6年生を送る会「ありがとう 中学校になってもがんばってね」会を開催しました。下級生の大きな拍手に迎えられ、花のアーチをくぐった6年生。みんなに注目され、少し照れたように入場してきました。会は、「ありがとうの花」の全校合唱でスタートしました。インフルエンザやコロナ等が他校では流行っている状況でしたから、この6年生を送る会開催のために、全校で集まることを控えていましたので、この歌も全校で合わせるのはぶっつけ本番でした。大丈夫かなと少し心配をしていましたが、西小の子どもたちの底力はすごいもの。見事な大合唱でした。

その後は、各学年からの出し物がありました。

トップバッターは、3年生。手話を交えて歌を歌ったり、「あたりまえ体操」のダンスをしたりして、6年生にエールを送りました。

次は、2年生。リズムにのって歌ったり、6年生が小学校から羽ばたけるようにと「つばめ」の曲に合わせて踊ったりしました。

次は、4年生。担任の指揮で6年生へ「愛を込めて花束を」の歌と一人一人の6年生にあてた花束に模した色紙のプレゼントがありました。

次は、1年生。一番かわいがってもらった学年ならではのほっこりする出し物でした。「ありがとう6年生」の言葉に感謝の心が詰まっていました。

次は、5年生。タイムマシンに乗って、6年生の6年間を想像して、1年生から巡っていくストーリーの劇でした。その中で、お手本となってくれたこと、学校を支えてくれたことへの感謝と自分たちがそのバトンを引き継ぐという決意を伝えました。

最後は、6年生。「ラバースコンチェルト」の素敵な合奏を披露しました。下級生は、6年生の演奏を憧れの表情で見入っていました。また、6年間を振り返る劇もありました。それぞれの学年を振り返って、今だから客観的に言えることを自分たちの言葉で伝えました。例えば、4年生の1/2成人式の劇では「自分の夢を親に伝えるのは恥ずかしかったけど、少し大人に近づいた気がしました。」等。素直に今の自分たちの気持ちや思いをよく表現していて感心しました。

その他にも、下級生は、花のアーチや輪飾り、プログラムや題字作成、当日の司会等でも頑張っていました。子どもたちのがんばりで、思い出に残る素晴らしい集会ができました。ありがとう!



6 松入場



6 竹入場



6年生の出し物



全校ゲームじゃんけん列車

### ☆☆☆ある雨の日に☆☆☆ やさしい気持ちありがとう♡

ある朝、登校中のこと。2竹の女の子がちょうど校門を通るとき、雨がぱらぱらと降り出しました。その女の子は、傘を持っていましたので、さっと傘をさしました。が、突然、ぱっと小走りに走り出しました。「何?」と思って見ていると、なんと前を歩いていた1年生に傘をさしかけたではありませんか。よく見るとその1年生は傘を持っていません。傘をさしかけてもらった1年生は、びっくりして女の子を見えています。1年生は、はにかんだような感じで、さっと歩き出しました。二人一緒にしっかりと傘に入って、校舎までぬれずに行くことにはなりませんでしたが、そのやさしさに心が温かくなりました。正に「自分で考え、動く」子どもです。

児童会が中心となって集めた能登半島地震のための募金を佐賀新聞社に送りました。2月29日付の佐賀新聞にそのことが掲載されていました。改めてご協力に感謝します。ありがとうございました。

## ◆西っ子タイム色紙づくり、5年生を中心に◆

この1年間、縦割り活動の西っ子タイムを企画、運営してくれた6年生に感謝の気持ちを伝えようと今、色紙を作成中です。中心となって動いているのは5年生。これまでは、サブリーダーだった5年生が、今回からリーダーとして活躍しています。それぞれ分担して各学級に出向き、色紙を作る意味やメッセージの書き方等を分かりやすく伝えていました。来年度は、きっと頼もしい6年生として全校を引っ張ってくれるものと今から期待が膨らみます。



5年生が説明しているところ

みんなは、お世話になった6年生のことを思い浮かべながら、静かにメッセージを書いていました。3月8日に行う引き継ぎ式で渡す予定です。きっと、喜んでもらえることでしょう。

## ◆6年生への最後の読み語り◆

読書ボランティアの方々による今年度最後の読み語りは、6年生に向けて、斉藤隆介作「花さき山」でした。ブラックシアターを活用した読み語りは、特殊なライトに照らされた絵と心にしみ入る語り口とがマッチして、それはそれは幻想的で見応えがありました。子どもたちもすっとお話の中に引き込まれていました。「山菜を採りに行って、やまんばに出会ったあやは、やまんばからやさしいことをすると一つきれいな花が咲くのだということを聞きます。自分のことを優先するのではなく、他の人のことを考える思いやりの心が花を咲かせるのだと・・・。」一緒に聞かせていただいて、「これからもこのお話のように『やさしさの花、思いやりの花』をみなさんも咲かせ続けてくださいね。」という読書ボランティアの方々の思いが伝わってきました。子どもたちにもその思いがしっかりと届いたと思います。



ハンドベルの演奏

また、他にも「ミッキーマウスマーチ」等の曲に合わせてハンドベルの演奏もしていただきました。実は、2学期末から学級での読み語りが終わった後に残られて、みなさんで練習をされていました。いつも「子どもたちのためならば」と支えてくださる読書ボランティアの方々には本当に頭が下がります。心よりお礼申し上げます。



「花さき山」の読み語り

## ～西川副校区社会福祉協議会様からのお礼状～

学校便り17号で、地域の方からカレンダー製作のお礼のはがきが届いたことを書きました。今度は、社協の方からも「一人暮らしの方々へのカレンダー配布に際しまして、ご協力いただきありがとうございました。」「お配りした皆様から感謝の言葉や嬉しい言葉をいただいていますのでお知らせします。」というお礼状をいただきました。ありがとうございます。その声を今回紹介します。

◎西川副小の皆さん、カレンダーのプレゼントありがとうございました。夏の暑い日、冬の寒い日も私たち交通指導員は、安全・安心をモットーに地域住民の皆さんや学校の児童の皆さんが事故のないように街頭に立って交通指導を頑張っています。今回、心温まるカレンダーを頂き、大きな励みとなりました。本当にありがとうございました。

◎かわいい絵を見て、自分の子供の小さかった頃を思い出しました。

◎何度見ても笑顔になります。 ◎ほのぼのします。

◎低学年から高学年までそれぞれに味わいのある絵ですね。

◎大人には描けない素晴らしい絵です。

◎構図、色遣い、発想力が素晴らしい。大人にはまねできない絵です。

◎毎年楽しみにしています。 など